

倉吉記者クラブ加盟社 御中  
鳥取中央有線放送株式会社 御中

発信元	琴浦町
担当課	農林水産課
担当者	黒松
連絡先	0858-55-7802
令和7年9月	29日 (月)

## 「全日本ホルスタイン共進会に琴浦町から3名出場

### 決定！～町長が激励会でエールと奨励金を贈呈～」

●10月25～26日に北海道で開催される第16回全日本ホルスタイン共進会の鳥取県代表として出場が決定した町内在住の3名に対し、激励会を開催します。

主 催 琴浦町（担当課：農林水産課）  
日 時 令和7年10月2日（木）午前11時00分～午前12時00分  
場 所 琴浦町役場本庁舎 町長室  
出席者(予定) 琴浦町長 福本まり子  
出品者 3名  
琴浦町酪農組合 組合長  
大山乳業 組合長

### 概 要

全日本ホルスタイン共進会は「乳牛のオリンピック」とも呼ばれ、乳牛の理想の体形に向けた改良技術を競う大会となっており、酪農分野における最高の舞台となっています。

鳥取県では9月20日に全日本ホルスタイン共進会の予選会でもある鳥取県畜産共進会が開催されました。審査の結果、鳥取県代表として出品する乳牛5頭が選抜され、内3頭が琴浦町の出品者の乳牛となりました。琴浦町から3名もの代表が出場するのは快挙であり、町の酪農業のレベルの高さを示すものとなりました。

激励会では琴浦町長から出場者へ激励の言葉が贈られるとともに、これまでの努力と今後の活躍を期して奨励金が交付されます。

### 出品者

出品者	乳牛名号	審査区
福田 寛	ハッピーフィールド ラム スピリッツ	第2区
(同)三浦牧場	ミキファーム デルタラムダ PT ギン	第5区
(株)岡村牧場	コトウラ チーフ マミー	第6区

# 第16回 全日本 ホルスタイン 共進会 北海道大会



## 北海道ホルスタイン共進会場

### 北海道勇払郡安平町早来新栄

出品  
**400**頭

農林水産祭参加

2025  
10月

25・26日

### 付帯行事

○酪農後継者育成プログラム

- ・ジャッジング・リードマンスクール
  - ・リードマンコンテスト
  - ・ハイスクール・デリー・グランプリ
- 共催：北海道アルバータ酪農科学技術交流協会  
学校法人酪農学園

○酪農資材器具展・技術交流会

○2025ゴールデンナショナルセール

主催：北海道ホルスタイン農家協同組合

キッチンカーも！



主催：一般社団法人日本ホルスタイン登録協会  
開催地事務局：北海道ホルスタイン農家協同組合  
後援：農林水産省、参加都道府県、安平町、家畜改良センター、  
農畜産業振興機構、日本中央競馬会、中央畜産会、  
農業者産関係団体、ほか



大会公式 HP  
<https://hcj.or.jp/zenkyo/>

## シャトルバス運行！

# JR南千歳 駅 ⇄ 会場

※詳しい運行時刻はHPをご覧ください。





# 第16回 全日本ホルスタイン共進会 ◆◆北海道大会◆◆

開催期日 / 2025年（令和7年）

10月25日（土）・26日（日）

開催場所 / 北海道勇払郡安平町

北海道ホルスタイン共進会場

出品頭数 / 400頭（ホルスタイン 368頭・ジャージー 32頭）

\*ホルスタイン一般 276頭、Jサイア娘牛 72頭、高等学校特別枠 20頭



一般社団法人 日本ホルスタイン登録協会  
（開催地事務局：北海道ホルスタイン農業協同組合）

第16回全日本ホルスタイン共進会 部別出品内訳並びに出品牛資格等

区 別		生年月日の範囲		頭数 400	産 地	検定成績証明 ゲノミック評価	
[ホルスタイン種雌牛]		基準日					
(注9)		(注2)	令和7年9月30日 (注1)	(注3)	(注5)	(注6) (注8)	
未 経 産	第1部	Jサイア娘牛	10月以上12月末満	令和6年10月1日 ~ 令和6年11月30日	24	自 県 産	母牛が検定成績証明申込中(又は証明済) ただし、母牛が未経産の場合は、出品牛がゲノミック評価成績を有し、かつ祖母が検定成績証明済(注7)
	第2部		12月以上14月末満	令和6年8月1日 ~ 令和6年9月30日	24		
	第3部		14月以上16月末満	令和6年6月1日 ~ 令和6年7月31日	24		
	第4部		16月以上18月末満	令和6年4月1日 ~ 令和6年5月31日	24		
	第5部		18月以上20月末満	令和6年2月1日 ~ 令和6年3月31日	24		
	第6部		20月以上22月末満	令和5年12月1日 ~ 令和6年1月31日	24		
経 産	第7部	Jサイア娘牛	36月末満	令和4年10月1日 以降	24	国 内 産	本牛が検定成績証明 申込中(又は証明済)
	第8部		28月末満 (2歳ジュニア)	令和5年6月1日 以降	22		
	第9部		28月以上32月末満 (2歳ミドル)	令和5年2月1日 ~ 令和5年5月31日	22		
	第10部		32月以上36月末満 (2歳シニア)	令和4年10月1日 ~ 令和5年1月31日	22		
	第11部	Jサイア娘牛	36月以上48月末満 (3歳)	令和3年10月1日 ~ 令和4年9月30日	24		
	第12部		36月以上42月末満 (3歳ジュニア)	令和4年4月1日 ~ 令和4年9月30日	22		本牛が検定成績証明済
	第13部		42月以上48月末満 (3歳シニア)	令和3年10月1日 ~ 令和4年3月31日	22		
	第14部		4歳以上5歳末満	令和2年10月1日 ~ 令和3年9月30日	22		
	第15部		5歳以上6歳末満	令和元年10月1日 ~ 令和2年9月30日	22		
	第16部		6歳以上	令和元年9月30日 以前	22		

[ジャージー種雌牛]

(注4)

未 経 産	第17部		10月以上16月末満	令和6年6月1日 ~ 令和6年11月30日	8	国 内 産	母牛が検定成績証明 申込中(又は証明済)
	第18部		16月以上22月末満	令和5年12月1日 ~ 令和6年5月31日	8		
経 産	第19部		36月末満	令和4年10月1日 以降	8		本牛が検定成績証明 申込中(又は証明済) // (48月以上は検定 成績証明済)
	第20部		36月以上	令和4年9月30日 以前	8		

注1. 出品区分の基礎となる年齢は、令和7年9月30日をもって算定する。

注2. 出品牛は国内産で血統登録牛(受精卵移植による生産牛は、登録時所有者が居住する都道府県を産地とする)。

注3. ホル種未経産牛は自県産で、経産牛は国内産とし、飼養期間は設けない。

注4. ジャ種未経産牛並びに経産牛は国内産とし、飼養期間は設けない。

注5. 出品者は、出品牛を所有する者又はその同一家族とする。

注6. 未経産牛で生後20月以上のものは、妊娠確実であること。180日以上で早流産したものは経産牛とみなす。

注7. 22月末満未経産牛は、母牛が検定成績証明申込中又は証明済みのもの。

ただし、母牛が未経産の場合は、出品牛がゲノミック評価成績を有し、かつ祖母が検定成績証明済みのもの。

注8. 輸入受精卵によって生産された出品牛の母牛の検定成績及びゲノミック評価成績は、当該外国登録団体が発行する証明書により判定する。

注9. Jサイア娘牛とは、わが国の後代検定事業に参加している種雄牛を父にもつものをいう。